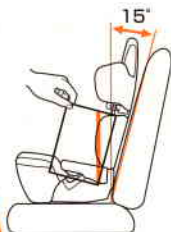


Combi

コンビ
プリム
キッズ

角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。



ジュニアシートを車の座席角度に合わせて、15度前後に傾けます。上の図のように本書をジュニアシートの背もたれに合わせます。赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン
<http://www.combibaby.com>

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、
コンシューマープラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県岩槻市約上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468

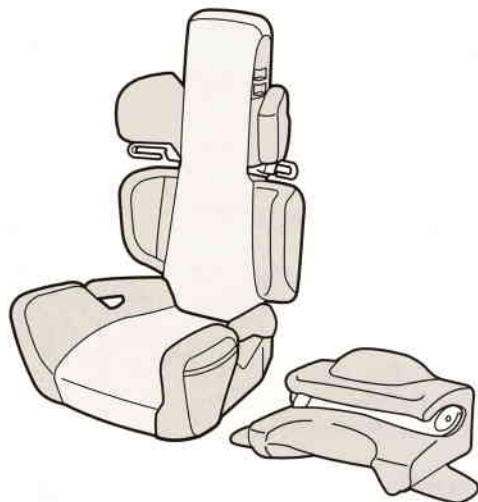
04.6

Combi

コンビ ジュニアシート プリムキッズEG KS-358 プリムキッズS KS-298

取扱説明書

品質保証書付



- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- 34ページの品質保証書の欄に必要事項をご記入ください。
- 本書は、ジュニアシート座面部の側面ポケットに保管してください。(12ページ参照)

安全にお使いいただくために

お使いいただけるお子さまの条件

本製品は、お子さまの成長に合わせて3段階の使いかたができます。

Step1

体重9kg以上～18kg以下のお子さま
(参考年齢 1才ころ～4才ころ)
身長75cm～100cm程度のお子さま

車のシートベルトをシールドに通して使用します。



Step2

体重15kg以上～25kg以下のお子さま
(参考年齢 3才ころ～7才ころ)
身長100cm～120cm程度のお子さま

シールドをはずし、車のシートベルトを背もたれのベルトガイドとアームレストの下に通して使用します。



Step3

体重22kg以上～36kg以下のお子さま
(参考年齢 6才ころ～11才ころ)
身長120cm～145cm程度のお子さま

背もたれをはずし、座面部にシートベルトを通して使用します。



もくじ

はじめにお読みください

■安全にお使いいただくために	1
お使いいただけるお子さまの条件	1
3点式シートベルト専用	3
取り付けできない座席	3
△ 危険	5
△ 緊急時の脱出	6
△ 警告	6
シートベルトの種類と特徴	8
△ 注意	9

■ご使用になる前に	11
組み立てかた	11
各部のなまえ	12

■使いかた	13
1. 車の座席に置く	13
2. 背もたれの角度の調節のしかた	14
3. 補助アンカーの使いかた	15
4. お子さまの座らせかた	16
5. ヘッドレストの使いかた	17

■Step1	18
取り付けかた	19
取り付け完了チェック	21

■Step2	22
取り付けかた	23
取り付け完了チェック	24

■Step3	25
背もたれのはずしかた	26
お子さまを座らせシートベルトを締める	26
取り付け完了チェック	28

■お手入れのしかた	30
-----------	----

■製品仕様	33
-------	----

■品質保証書	34
--------	----

■角度チェッカー	裏表紙
----------	-----

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

3点式シートベルト専用

3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。

- 3点式シートベルトとは…図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

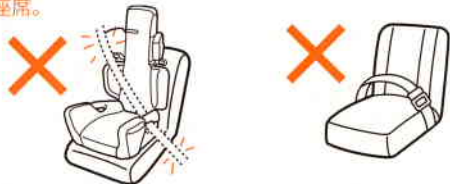


※2点式シートベルト装備の座席、エアバッグ装備の座席など、「取り付けできない座席」では、使用しないでください。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。また、前座席へ取り付けの場合には、安全性を高めるため、車のシートを後にスライドさせてのご使用をおすすめします。

- シートベルトの長さが極端に短い座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- シートベルトの取り付け幅が38cm未満の場合。



- パッシブシートベルトの座席。(オートマチックシートベルト)

…ドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。とくに輸入車に多い。



- エアバッグ装備の座席。サイドエアバッグのみの車には使用できません。



- 座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- 極端なバケットシート。(座面の中央が極端にへこんでいる座席)



- 座面の奥行きが40cm未満の座席。



- シールドのベルトガイドの位置よりも前方向からシートベルトが出ている座席。



安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項と、お子さま、車の座席の条件は、ジュニアシートとしての機能を発揮させて、安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

- 使用条件に適合しないお子さま・座席などでは使用しないでください。



- 取扱説明書どおりにしっかりと取り付けできないときは、使用しないでください。



- エアバッグ装備の座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。



- お子さまがジュニアシートの上で立ったり、中腰になったり、正座をしないようにしてください。



- お子さまを座らせたときには、シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。



⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がシートベルトをはずし、お子さまを車外に脱出させてください。

- シールド使用時は、シートベルトのバックルをはずした後、シールドを強く引き上げて脱出させてください。

⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しが強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故のもととなります。必ず保護者が同乗して使用してください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



- お子さまとシールドの間に大人の指より大きなすき間をあけて取り付けしないでください。衝突時などにお子さまが飛び出すおそれがあります。



安全にお使いいただくために

警告

- シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。衝突時などにお子さまが飛び出すおそれや、ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



- シールドをフラップのみで取り付けしないでください。必ずシートベルトを使用して取り付けてください。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締めつけられ、胸が圧迫されます。(P8参照)



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けしないでください。



警告

車のシートベルトの種類により、取り付けかたが異なります。

シートベルトの種類と特徴

(ジュニアシートは3点式のみでご使用いただけます)

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
● ELR付きシートベルト …ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ジュニアシートは、2点式シートベルトでは、使用できません。
● A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) …A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	シートベルトを全部引き出すと危険です。ベルトを一度戻してチャイルドシート固定機能を解除してください。
● ALR付きシートベルト …ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	使用できません。
● NLR付きシートベルト …NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
● マニュアル式シートベルト	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

※ シートベルトの種類が不明な場合は、ご使用の車の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 通常の椅子として使用しないでください。座面と背もたれが固定されていないので、転倒するおそれがあります。



- 風雨にさらさないでください。



- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。



- シートクッションをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものを取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。

背もたれ、または座面部だけを持ち上げると、はずれて落ちます。



- 直接日光が当たると、本体やシートベルトの差込金具などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子さまを座らせる前に各部にさわって、やけどをしないことを確認してから使用してください。



- 走行中は、各部の操作や調整をしないでください。



- 車のシートの可動部やドアに挟まないように、十分注意してください。



- ジュニアシートを改造したり、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



- 背もたれのみでは、使用しないでください。



- 車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままで取り付けしないでください。



ご使用になる前に

組み立て前に、下記の各部品がそろっていることを確認してください。

梱包品

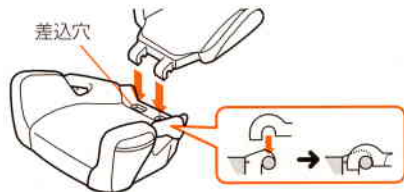
座面部	1	シールド	1
背もたれ	1	取扱説明書(本書)	1
		調節パッド	1

組み立てかた



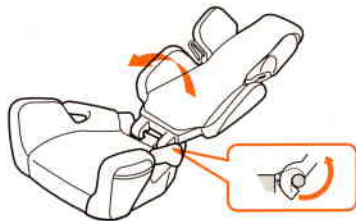
組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。

1 座面部の差込穴に背もたれの下端を合わせる。



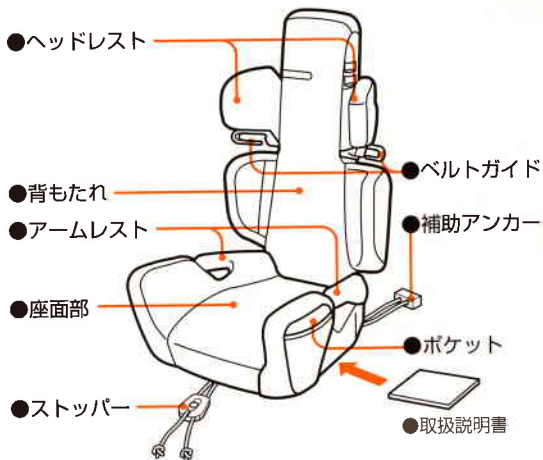
2 背もたれの下端を差込穴に差し込みながら、背もたれが垂直になるまで立てる。(「ガリッ」と音がするまで立てる)

※ 座面部のシートクッションをはさまないでください。



3 背もたれを前後に押して、背もたれの下端が確実に接続されていることを確かめる。

各部のなまえ



シールド

●ベルトガイド

●フラップ

●調節パッド



●エッグショックパッドの使いかた(EGタイプのみ)

エッグショックパッドを使うときは、背もたれクッションをはずし、ヘッドレストクッションの裏側にあるポケットに入れます。



使いかた

1 車の座席に置く

車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。

3、4ページをご覧ください。

危険

- エアバッグが装備された座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。
- 座席の種類などにより、ジュニアシートをしっかりと取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能をはたさず大変危険です。

警告

2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合は、助手席にはジュニアシートを取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

ジュニアシートを前向きに車の座席に置く。

シートベルトの肩ベルトの高さ位置が調節できる場合は、下に下げます。

取りはずせる場合は車の座席のヘッドレストは取りはずします。



前向き
(車の走行方向)

2 背もたれの角度の調節のしかた

ジュニアシートの背もたれと車の座席の間のすき間が、できるだけ小さくなるように調節してください。

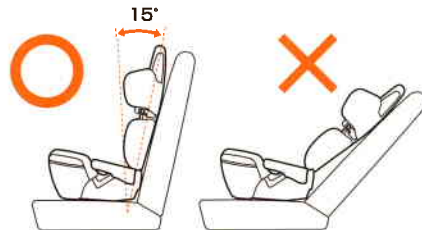
警告

車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能をはたさず、危険です。

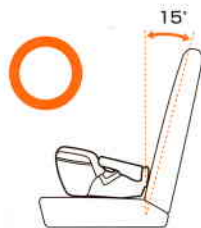
車の座席角度に合わせて、15° 前後の傾きで使用してください。

角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。

また、Step3で使用する場合にも、車の背もたれを15° 前後の傾きに調節してください。



<Step1、Step2で使用する場合>



<Step3で使用する場合>

3 補助アンカーの使いかた

補助アンカーは、ジュニアシートのズレを抑えるためのものです。これによりお子さまを安全に保護するものではありません。

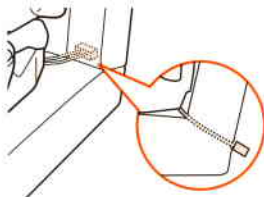
1 座面部・底面から補助アンカーを取り出す。



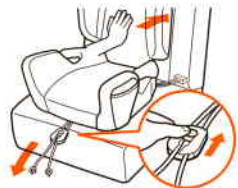
2 座面部・前端のストッパーをはずし(1)、補助アンカーを引き出す(2)。



3 車の座席の座面部と背もたれの間に補助アンカーを差し込む。



4 車の座席とジュニアシートをピッタリとつけ、ストッパーを押さえながらヒモを2本まどめて引き、ロックする。



4 お子さまの座らせかた

ジュニアシートは、シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者の方の補助なしで、お子さまが1人で座られると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者の方がジュニアシートに座らせてください。

お子さまを、ジュニアシートに深く座らせてください。

お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険です。

- お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。
- 中腰・正座・立てひざなどをする。

⚠ 警告



- のけぞる、前かがみになる。



⚠ 注意

背もたれと座面の間に衣服を挟むおそれがあります。注意してください。

5 ヘッドレストの使いかた

●サイドサポートは、内側に2段階倒すことができます。

お子さまが寝られて頭が傾いたときには、内側に1段階倒してお使いください。
2段階目は、高さ調節をするときに使います。



高さ調節位置より内側には倒さないでください。

高さ調節(ベルトガイド位置)

お子さまの体格に合わせて、高さを調節します。

ベルトガイド位置の選びかた

ベルトガイドを、お子さまの肩の高さよりも、少し上の位置にする。

ベルトガイドの高さ
お子さまの肩の高さ



1 サイドサポートを高さ調節位置(2段階目)まで倒します。ロックがはすれてヘッドレストが上下に動きます。



2 位置を合わせたら、サイドサポートを開いてください。ヘッドレストがロックします。ヘッドレストが上下に動かないことを確認してください。

Step 1

体重9kg以上～18kg以下のお子さま
(参考年齢 1才ころ～4才ころ)
身長75cm～100cm程度のお子さま

車のシートベルトをシールドに通して使用します。



- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。
お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、8ページをご覧ください。)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けてください。
- お子さまとシールドの間に、大人の指より大きなすき間をあけて取り付けないでください。衝突時などにお子さまが飛び出すおそれがあります。
- シールドをフラップのみで取り付けしないでください。必ずシートベルトを使用して取り付けてください。

Step 1

取り付けかた

- 1** ヘッドレストを肩よりも少し上の位置にする。



- 2** シールドを上から押しつけながらフラップを面ファスナーで取り付ける。
このときお子さまとシールドの間に大人の指より大きなすき間ができないようにする。



- 3** 車のシートベルトを引き出し、腰ベルトと肩ベルトを2枚合わせてシールドのベルトガイドに通す。



- 4** 差込金具を『カチッ』と音がするまでしっかりとバックルに差し込む。

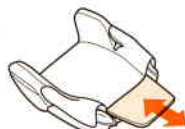


- 5** シートベルトにたるみがないように長さを調節し、ねじれないことを確認する。



⚠ 注意

- お子さまの体重が9kg～12kgの場合には座面部とシートクッションの間に調節パッドを入れてください。12kgを超えたら、はすしてご使用ください。



- シールドを使用しないときは、フラップの端を内側に折りたたんで保管してください。



Step1

取り付け完了チェック

取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

- お子さまとシールドの間に、大人の指より大きなすき間がないこと。
- シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- シートベルトの肩ベルトと腰ベルトの両方が、シールドのベルトガイドを通っていること。
- 差し込み金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。
- 背もたれの角度が15°前後であること。
- お子さまのあととシールド上面が3cm以上あること。
- できるだけ車の座席とジュニアシートとの間のすき間を小さくすること。



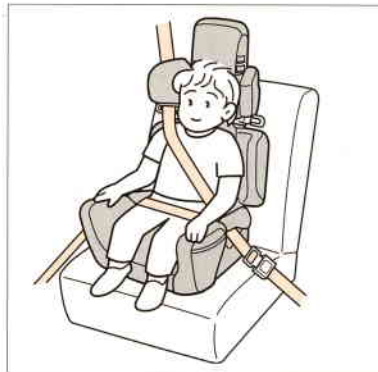
これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります。

Step2

体重15kg以上～25kg以下のお子さま
(参考年齢 3才ころ～7才ころ)

身長100cm～120cm程度のお子さま

シールドをはずし、車のシートベルトを背もたれのベルトガイドとアームレストの下に通し使用します。



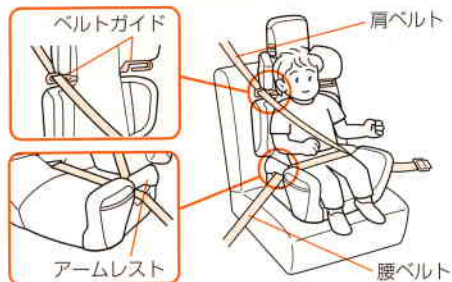
- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。
お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、8ページをご覧ください。)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

取り付けかた

- 1 車のシートベルトを引き出し、**肩ベルトをベルトガイドに通し、腰ベルトをアームレストの下に通す。**(その際、必ず**腰ベルト**がお子さまの腰骨にかかるように締める)



肩ベルトが、お子さまの肩よりも少し高い位置を通っていることを確認する(肩ベルトがお子さまの肩よりも下から出ている場合には、「ヘッドレストの使いかた」(17ページ)をご覧ください。またこのとき、肩ベルトがお子さまの首にあたらないよう、十分注意してください)

- 2 差込金具を反対側のアームレストの下側に通し、「カチッ」と音がするまで、しっかりとバックルに差し込む。



シートベルトに、**●●●●●** ねじれやたるみがないことを確認する

取り付け完了チェック

取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

- シートベルトがベルトガイドを通っていること。
- 肩ベルトがお子さまの肩からはずれたり、首に当たったりしていないこと。
- 調節パッドがはずれていること。
- シートベルトが、お子さまの腰骨を押さえていること。
- シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- できるだけ車の座席とジュニアシートとの間のすき間を小さくすること。
- 差込金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。

- シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)がアームレストの下を通っていること。



これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります。

Step3

体重22kg以上～36kg未満のお子さま
(参考年齢 6才ころ～11才ころ)
身長120cm～145cm程度のお子さま

背もたれをはずし、座面部にシートベルトを通して使
用します。



危険

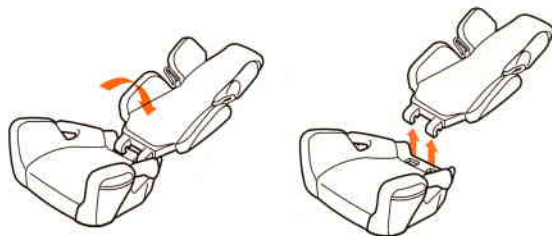
- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

警告

- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。
お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、8ページをご覧ください。)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

背もたれのはずしかた

- 1 背もたれを後ろに倒す。
- 2 背もたれを、差し込み穴から引き抜く。



お子さまを座らせシートベルトを締める

背もたれをはずして使用する場合は、車の座席のヘッドレストをはずさないでください。

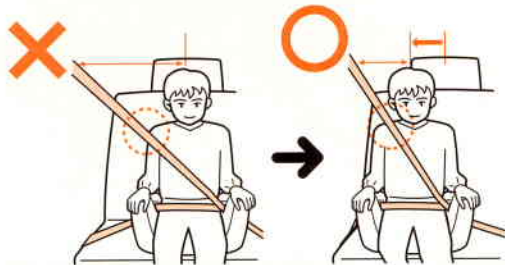
- 1 座面部を座席に置き、その上にお子さまを座らせる。
- 2 大人と同じように、3点式シートベルトを締める。
腰ベルトを左右のアームレストの下に通し、差込金具を「カチッ」と音がするまで、しっかりとバックルに差し込む。肩ベルトをお子さまの肩にかける。



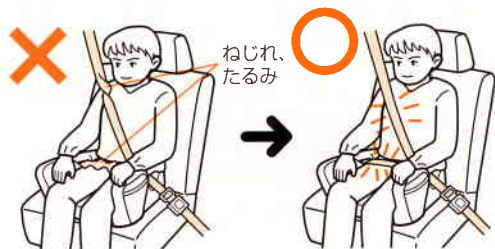
Step3

3 シートベルトの肩ベルトの高さ位置が調節できる場合は、お子さまの肩にかかるように調節する。

※図のようにシートベルトがお子さまの肩にかからない場合、ジュニアシートを左右に5cm程度の範囲で移動してください。シートの形状によりずらせない場合があります。



4 シートベルトにたるみがないように長さを調節し、ねじれがないことを確認する。



取り付け完了チェック

取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

- 肩ベルトがお子さまの肩からはずれたり、首に当たったりしていないこと。
- シートベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- 調節パッドがはずれていること。
- 車の座席のヘッドレストがはずれていないこと。
- シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- 差込金具が、バックルにしっかりと差し込まれていること。

- シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)がアームレストの下を通っていること。

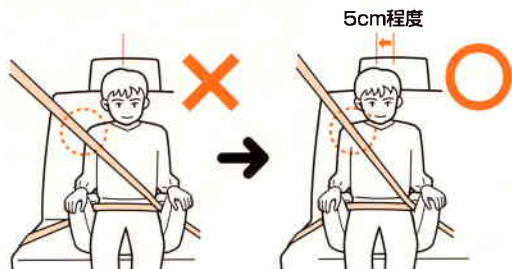


Step3

こんなときには

ショルダーベルトが首にかかったり、肩からはずれるとき

座面部をシートの中央から、左右どちらかによせて取り付けてみてください。
座面部が斜めにならず、5cm程度の範囲であれば支障はありません。

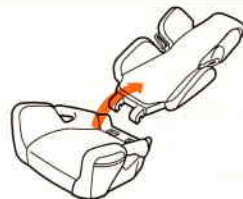


これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をたさず、危険をまねくおそれがあります。

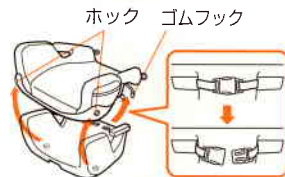
お手入れのしかた

シートクッションの取りはずしかた

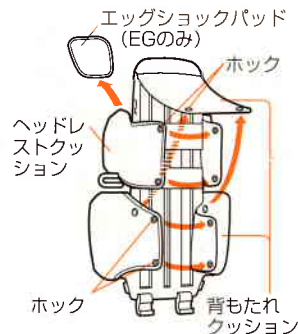
- 1 ジュニアシート座面部と背もたれをはずす。



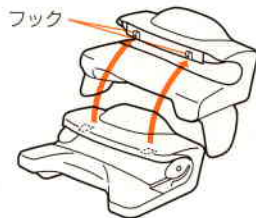
- 2 座面部底面のホック、後中央のゴムフック、後端のゴムひもをはずし、クッションを取りはずす。



- 3 背もたれ背面のホックを4カ所はずしてクッションを取りはずし、ヘッドレストクッションも2カ所のホックをはずしてから取りはずす。(EGタイプはヘッドレストクッションから、エッグショックパッドも取りはずしてください)



- 4 シールドはベルトガイド上面2カ所のフックをはずしてから取りはずす。



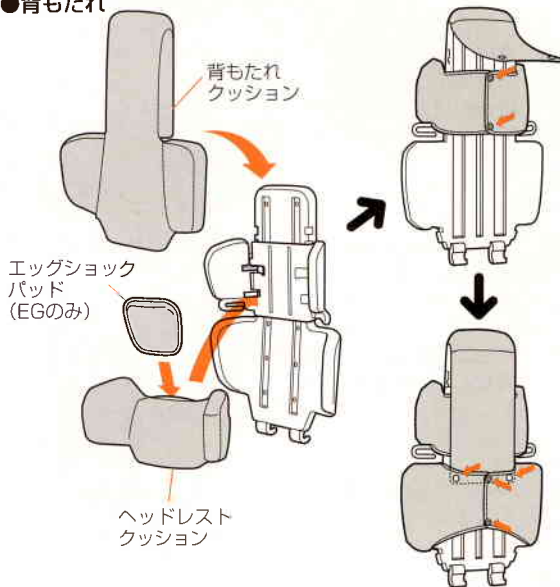
お手入れのしかた

お手入れのしかた

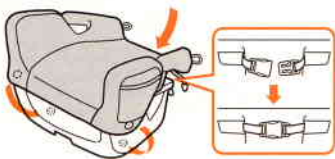
シートクッションの取り付けかた

- 1 座面部、ヘッドレスト、背もたれ、シールドにシートクッションをかぶせる。(EGタイプは、ヘッドレストクッションのポケットにエッグショックパッドを入れる)
- 2 それぞれのホック、面ファスナー、ゴムフック、フック、ゴムひもをとめる。

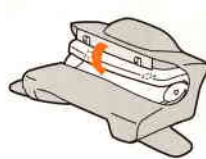
●背もたれ



●座面部



●シールド



シートクッションの洗いかた

シートクッションを洗濯するときには、次のことを守ってください。

※エッグショックパッドは洗濯できません。

 手洗い 30	液温は30℃を上 限として手洗いし てください。	 漂白剤は使用しな いください。
 アイロン掛けはし ないください。	 ドライクリーニング はしないください。	
 手絞りの場合は弱 く、洗濯機脱水の 場合は短時間で 行ってください。 強く絞ると、シワ が残ることがあり ます。		 日陰で平干しして ください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

※プリムキッズEGを洗濯する場合は、必ずエッグショックパッドを取りはずしてください。

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

お手入れのしかた

保管のしかた

●本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

●取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、座面部の側面ポケットに入れ保管してください。

製品仕様(EG/S)

製品サイズ：(W)440×(D)460×(H)760mm

●本体



製品質量：●本体…5.2kg(EG)

●本体…5.1kg(S)

材質：●本体…ポリエチレン

●シールド…発泡ポリプロピレン